

# 塩竈市議会だより

## 平成23年9月定例会号

- 定例会のあらまし、議案審議の概要 P 1
- 一般質問、委員長報告 P 2
- 一般質問、委員長報告、討論 P 3
- 議案等賛否一覧表、意見書、人事、会派構成 P 4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Dec.2011 (平成23年12月)  
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

## 「ミニミニ遊びの広場」 (つどいの広場)



### 定例会のあらまし

平成23年第3回定例会は、9月30日から10月19日までの20日間の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、平成22年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会に付託されました。また、人事案件4件、議員提出議案1件が即日審議の上、可決されました。

各常任委員会は3日間開催され、付託された議案の審査を行いました。また、決算特別委員会は4日間開催され、付託された決算の審査を行いました。本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。

定例会最終日には、各常任委員長及び決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案17件を可決、決算2件を認定しました。また、議員提出議案1件を即日審議の上可決し、閉会しました。  
 (議案の件名と審議結果は4ページ)

### 定例会会議日程

(本会議)	9月	30日	会期の決定、諸般の報告、行政報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件採決、議員提出議案審議及び採決
(委員会)	10月	3日	総務教育常任委員会
	10月	4日	民生常任委員会
	10月	5日	産業建設常任委員会
	10月	6・7日	平成22年度決算特別委員会
	10月	11・12日	平成22年度決算特別委員会
(本会議)	10月	14・17日	市政に対する一般質問
	10月	19日	委員長報告、議案審議及び採決、議員提出議案審議及び採決

### 東日本大震災の復旧復興事業費等 補正予算75億4908万円可決

9月定例会の一般・特別・企業会計補正予算額は75億4908万円で、補正後の予算総額は569億7369万円となりました。一般会計の補正では、東日本大震災に対応するため、災害復旧事業費、災害関連事業費及び災害対策支援事業費等として、計62億4623万円が追加されました。特別会計の補正では、下水道事業特別会計の災害復旧費として8億7100万円など、6つの特別会計で計11億7585万円が追加されました。

また企業会計の補正では、水道事業会計の東日本大震災による災害復旧事業費として1億2700万円が追加されました。

その他、「議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例」など3件の議案が可決され、議員提出議案「塩竈市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例」など2件が可決されました。

### 平成22年度一般・特別・企業会計決算を認定

平成22年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置された「平成22年度決算特別委員会」は10月6日に開会され、初日に正副委員長の互選を行い、委員長に小野幸男委員、副委員長に阿部かほる委員を選出しました。4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきと決しました。本会議4日目に決算特別委員長報告を受け採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員長報告(2ページ)は次のとおりです。

### 監査委員報告概要

一般・特別・企業会計は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、表示された計数は諸帳簿と符号し正確であり、その内容及び予算執行状況についても適正であると認められた。

一般・特別会計を合わせた実質収支は黒字決算となっている。一般会計は、実質単年度収支は赤字決算となっているが、行財政改善の努力で前年度より改善されている。また経常収支比率、実質収支比率も前年度より改善されているが、今後、震災による復旧・復興に要する費用が多額になることから、歳入の確保、歳出削減の努力、既存制度の活用や補助制度の拡充に向けた働きかけなど新たな塩竈市の構築のため、あらゆる努力をされたい。

病院事業会計は、入院患者数の増加等により黒字決算となり、不良債務額は前年度より減少している。震災時はライフラインが停止する中、職員が一丸となり救急患者の受け入れや入院患者のケアに努めたことは高く評価する。今後も公立病院として市民に安心・安全な医療の提供を行うよう努められたい。

水道事業会計は黒字決算となっているが、今後の事業見直しは給水人口の減少、景気回復の遅れ等により、水需要の伸びが期待できないことに加え、震災の復旧費用も多額になると思われることから、引き続き一層の経営の効率化を進め、安全で安心な水を低価格で供給できるよう努められたい。

# 質 問

本会議における一般質問は、10月14日、17日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは一般質問の中から一つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った一般質問の項目も掲載しています。



公明党  
浅野敏江

## 民有宅地・急傾斜地等の復旧は

**議員** 大震災により、宅地への海水の流入や擁壁が崩壊あるいは大規模に損壊する等の被害を受けている場合、その復旧費用は個人の負担能力を超えており、何らかの公的支援を求める声が日に日に高まっている。国土交通省においては、これらの復旧事業を公費で行う方針を固めたとの報道がなされているが、今後の対応について伺いたい。また、急傾斜地の多い本市において、大雨による土砂崩れなど危険箇所が多いことから、さらなる安全対策を講じるべきでは。

**市長** 6月に本市を含む11市の首長連名により国に対し宅地災害の復旧に対する負担軽減を要望した。最近、災害関連地域防災が崩れ対策事業に特例を設け、人工斜面を対象に加える方針を固めたとの報道があり、同事業の対象となる高さの要件も5メートル以上のもので3メートル以上のものに緩和されるようであるが、道路等の公共施設に被害が及ぶおそれがあることが前提条件となる。本市としても、引き続き制度の拡大を要望していきたい。



被災者総合相談窓口

その他の質問項目

- ①被災者支援 ②台風対応 ③選挙事務の改善



自由民主党  
西村勝男

## 東日本大震災復興基金事業は

**議員** 県事業である東日本大震災復興基金事業は、希望者が多く、予算を大きく上回るため、申請者すべてが補助金を受けられる状況にはない。また業界や団体等に所属していない店には、あまり知られておらず、被災規模が比較的小さい本市における事業者が不利にならないか、との懸念を抱いている。そのため、本市としても事業に係る情報を積極的に収集するとともに対象者への支援措置が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**市長** この事業は、県が国の特別交付税や県への寄付金などを財源に「東日本大震災復興基金」を創設し、震災で甚大な被害を受けた農林水産業者や商工業者等への支援事業として実施するものである。商工関係では、中小企業者の事業再開等の支援を目的に、復旧に要する経費の一部などを補助する4つの制度が創設されている。本事業の申請を行うには、かなりの専門的な知見が必要になると考えられることから、本市においても、それぞれの担当部課において支援を行ってまいりたい。



東日本大震災の津波（北浜一丁目付近）

その他の質問項目

- ①震災の陳情活動 ②台風被害 ③海自の補給基地誘致



日本共産党塩電市議員  
高橋卓也

## 佐藤市長の選挙公約、国保の引き下げは

**議員** 市は国民健康保険税をこの8年間に、平成16年度、17年度と2年連続して値上げを行い、さらに平成21年度には、一世帯平均2万6384円、13・76%もの引き上げを行った結果、塩電市の国保税は県内一高くなっている。東日本大震災を受け、あらためて市民の命と健康、暮らしを守るという自治体の本旨が問われている。市長は先の市長選で国保引き下げを公約しているが、いつから、いくら引き下げるのか市長に伺いたい。

**市長** 現在の保険料は、平成21年度から23年度の3年間で計画期間として設定している。平成24年度以降の税率は、今後の収支を見通した上で算定を行うが、歳出の7割を占める保険給付費については震災の影響もあり、今後の推移を見極める必要がある。特に、東日本大震災に伴う受診者の増加や健康状態の変化による疾病増など不確定要素も多く、平成24年度以降の収支は、国保事業の安定運営を念頭に、慎重に見極め、できる限り被保険者の負担を軽減する努力をしてまいりたい。



保険年金課窓口

その他の質問項目

- ①震災対策 ②NEWしおナビ100円バス



日本共産党塩電市議員  
小野絹子

## 放射能測定は

**議員** 放射能から子どもたちの命と健康を守るには、通学路や公園等の遊び場などでの放射線量の定期的な測定が必要である。測定器を増やし、測定体制の充実を図り、市内各地の放射線量をきめ細かく測定すべきである。また18歳までの子どもの健康調査について伺いたい。さらに「塩釜の魚の安全」を発信するため、水産物の系統的な放射能測定と公開が必要。測定器の購入は県の助成を受けて対応すべき、と既に我が党は提言しているが、取り組み状況は。

**市長** 放射線の測定は7月から市内の各施設で行っており今回通学路14カ所を含む22カ所を追加した。18歳までの子どもの健康調査については県が基本方針を10月末までに策定し本市も共同歩調をとり対応する。水産物の放射能検査は水産庁と県が行い検査結果は水産庁や県のホームページで公表されている。放射能測定器は県の8月臨時会で関連予算が成立し、県の助成により各魚市場に導入される予定である。



放射線量測定

その他の質問項目

- ①震災復興 ②台風15号 ③商店・商業支援

## 委員長報告

9月定例会において、議案17件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



**総務教育常任委員長 阿部かほる**  
◎議案第54号、第56号、第58号、第60号、第68号、70号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
◎一般会計補正予算に対する要望意見  
◎総合交通体系整備事業等は、NEWしおナビ100円バスの増便等を行い、仮設住宅等居住者の交通手段を確保するものであるが、バスの発生が課題となることから、今後も運行路線等を定期的に検証し、仮設住宅等居住者の利便性の向上に努められたい。

**民生常任委員長 曾我ミヨ**  
◎議案第57号、第60号、61号、第65号、66号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
◎一般会計補正予算に対する要望意見  
◎仮設住宅地域支援合い体制づくり事業は、仮設住宅等入居者の安心した生活を支援するものであるが、点在する借上住宅入居者等へのサポート体制が広範囲であることから、関係機関等と連携し、仮設住宅等入居者の自立に向けきめ細かな支援体制の構築に努められたい。

**産業建設常任委員長 香取嗣雄**  
◎議案第59号、60号、第62号、64号、第67号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
◎一般会計補正予算に対する要望意見  
◎被災住宅応急修理制度は、災害救助法に基づき一世帯52万円を限度に応急修理するものであるが、震災で被災した市民が安心して住む住居の確保は喫緊の課題であり、本市の復旧・復興に向けた重要な取り組みであることから、当該事業を申請する被災者の立場を踏まえた柔軟な対応に努められたい。

**決算特別委員会委員長報告**  
各会計決算の審査にあたっては、決算書等の説明を聴取し、新たに各種資料の提出を求め、慎重に審査を行い、一般・特別会計は賛成多数、企業会計は全員により、それぞれ認定すべきものと決しました。当該決算に対する主要な要望・意見の概要は次のとおりです。

**一般会計**  
◎今後の財政運営は、東日本大震災からの復旧・復興、市民福祉の向上等のため、効果的かつ効率的な行政運営の推進に努められたい。また、既存制度等を活用した事業展開、さらに自主財源の根幹をなす市税収入の確保に向けて、第5次長期総合計画の重点戦略である「定住」、「交流」、「連携」に鋭意取り組まれたい。

◎防災備蓄倉庫整備事業は、東日本大震災の避難者の状況から新たな対応が必要であることから、今後の本市地域防災計画に検討を加えられ、引き続き備蓄品の整備充実が努められたい。

◎防犯対策事業は、「安全安心防犯ロード事業」として高照度防犯灯などの設置により、不審者情報や街頭犯罪の減少が認められることから、今後も引き続き一層の事業の推進に努められたい。

◎家庭児童相談事業は、家庭児童相談に係る支援回数が前年度よりほぼ倍増し、対応に苦慮する内容もふえていくことから、個々の相談内容に応じた、きめ細かな対応に努め、関係機関との連携の強化を図り、今後も増加が予想される相談業務への対応に鋭意取り組まれたい。

◎商店振興対策事業は、「塩電私の好きなお店大賞」で評価の高かったお店の顕彰やシンポジウムの開催により、受賞店は話題を呼び中心市街地の回遊性が高まった。今後も中心商店街の活性化に向け支援し、地域資源を活用し、魅力ある商店街の形成と観光客などの交流人口の拡大に努められたい。

◎浦戸第二小学校・浦戸中学校の「特認校」は、離島ならではの特色ある教育活動により、さまざまな成果が表れていることから、引き続き健康で豊かな人間性と生きる力を育む教育の充実に向け、一層の事業の推進にあたられたい。

◎浦戸第二小学校・浦戸中学校の「特認校」は、離島ならではの特色ある教育活動により、さまざまな成果が表れていることから、引き続き健康で豊かな人間性と生きる力を育む教育の充実に向け、一層の事業の推進にあたられたい。

# 般

※ 一般質問とは … 特定の議案とは関係なく、広く市政に関し説明を求めたり、疑問をただしたりすることをいいます。



かしん  
志賀勝利

## 本町商店街振興の ブランドデザインは

議員 昭和40年代に大型店が塩竈に進出して以降、本市の商店街の衰退は今日まで続いている。佐藤市政誕生以来既に8年が経過し、シャッターオープン事業、商人塾、塩竈私の好きなお店大賞等、振興策を講じてはいるようだが、どれほどの効果があったのか。また、10年、20年後の本町商店街についてどのような街づくりを目指しているのか具体的にお願いします。

市長 シャッターオープン事業についてはまだモデル事業ではあるが、既存の商店街に新しい風を吹き込むものと期待している。商人塾については現在10店舗を超える方々に参加いただいている。私の好きなお店大賞は昨年初めて取り組んだところである。まだまだ道半ばであるが、本市では、各個店の魅力を生かし、安心してゆつくりと歩きながら買い回りができることをコンセプトとした商店街形成を提案しており、その実現に向け努力し、かつての商都塩竈を取り戻していきたいと考えている。



本町商店街

その他の質問項目

- ①水産業振興 ②魚市場
- ③貨物ヤード跡地



新生クラブ  
菊地進

## 中の島橋・新河岸川(都市下水道)への排水ポンプの設置を

議員 中の島橋、新河岸川(都市下水道)付近への排水ポンプと水門の設置は二十数年前から計画されているが、市の水害に強いまちづくりの観点から、当該地への排水ポンプと水門の設置が必要と思うが、今後の予定と取り組みについて伺いたい。

市長 中の島橋付近の排水ポンプの設置は、雨水整備計画では、中央ポンプ場で排除している国道45号線沿線の排水を処理するため、中央第二ポンプ場を計画している。整備中の牛生ポンプ場と中央第二ポンプ場を含めたポンプ場整備のあり方について今後再度検討してまいりたい。



中の島橋

その他の質問項目

- ①高齢者福祉施設
- ②産業の活性化 ③教育環境



新生クラブ  
志子田吉晃

## 今後の財政見通しは

議員 災害復旧費や災害関連事業費等の一部は、国からの補助があるが、補助の出ないところをどうするのか。予算の全体的な見直しを求められている。震災の影響を乗り越えるべく、財源の確保対策と財政的な見直し等に係る次の事項について伺いたい。

市長 ①災害復旧・復興に係る財源措置は、②財政調整基金の予想は、③大規模な公共投資の可能性は、④下水道料金と国保税の見直しは、いつからどの程度できるのか。



下水道中央ポンプ場

その他の質問項目

- ①復興状況 ②教育
- ③定住化促進 ④まちづくり



新生クラブ  
鎌田礼二

## 二市三町の合併は

議員 東日本大震災で被害の大きかった多賀城市、七ヶ浜町は今大変な状況ではないかと思う。この機に連携強化を図り一気に合併推進のための会議を立ち上げるべきと考える。このような時だからこそ塩釜地区二市三町が合併し、行政コストを下げ、新しいまちづくりに取り組むべきでは、できないのであれば、せめてさらなる広域行政の充実を図る必要があると考えるが市長に伺いたい。

市長 本市も含めた二市三町それぞれが今回の震災で大変な被害を受けているなか、市長としての最大の責務は、一刻も早くこの震災から復興することではないかと考える。合併については、もう少し状況が落ち着いてから、改めて市民の皆様意向を確認していくべきと考える。二市三町においても塩釜地区広域行政連絡協議会を設置しているところであるが、合併への機運がないことも事実である。行政コストの効率化に向け、行政が抱える事務の広域行政に向けさらに努力したい。



塩竈市役所

その他の質問項目

- ①台風の対応 ②国保の減額
- ③市立病院 ④教育

▼特別会計  
 ◎交通事業特別会計は、被災した岸壁等施設の早期復旧への働きかけや浦戸住民が利用しやすい運行時間の見直しに取り組み、浦戸住民の生活航路として、また観光客の足として不可欠である離島航路の充実に向け検討を深められた。

◎国民健康保険事業にかかると特定健康診査・特定保健指導事業は、疾病予防を重視した健康づくりの推進を図るとともに、事業の積極的な周知に努められ、当該事業の受診促進に努力された。

◎魚市場事業特別会計は、被災した魚市場施設の本格復旧を急がれるとともに、関係機関との連携を強化し、積極的な漁船誘致や基幹漁業種以外の取り扱いは拡大について検討されるなど、今後とも水揚げの増加に努められた。

◎公共下水道事業(雨水事業)は、大規模な降雨における浸水の解消及び水害常襲地の冠水防止等のため、今後とも安全度の高いポンプ施設や貯留施設等の整備に努めるなど「水害に強いまちづくり」に向け努力された。

▼企業会計  
 ◎市立病院事業会計は、今後の安定経営には、経常収支の黒字化が不可欠であることから、その達成に向けて職員が丸となり取り組み、救急医療体制や高齢者医療の充実など、引き続き公立病院として質の高い医療の提供に努められた。

◎水道事業会計は、昨今の低迷する水需要の解消や産業の活性化に向けた料金体系のあり方等について検討を深められ、今後も安全で良質な水の安定供給と経営の効率化による健全経営の維持に努力された。



決算特別委員長報告

認定第1号 平成22年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について、討論が行われました。その概要は次のとおりです。(審議結果は認定)

## 討論

### 反対討論の概要

一般会計については、行財政改革でつくられた財源は、市民への公共サービスに使い、地方自治体は住民奉仕の役割を担うべきである。下水道事業特別会計については、値上げにより使用料に市民負担が転嫁されている。土地区画整理事業特別会計については、地元企業の起爆剤としての再開発だったが大型店進出で大きく変わった。国民健康保険事業特別会計については、資格証明書の発行は市民の命を守る立場に立っていない。介護保険事業特別会計については、保険料の負担増、利用負担が高齢者世帯の生活を圧迫している。後期高齢者医療事業特別会計については、医療制度を年齢で区分することは問題である。

よって、認定第1号に反対する。

### 賛成討論の概要

一般会計については、行財政改革により生み出された財源で、市民福祉の向上と財政基盤の健全化に道筋をつけた決算である。国民健康保険事業特別会計については、県の広域化等支援方針が国の交付金の増加を生み、健全化に結びついた。下水道事業特別会計については、維持管理費の軽減を図り、国の交付税を上回る繰り入れを行った。介護保険事業特別会計については、高齢者を大切に、家族負担を軽減した支援事業を実施し、成果が出ている。土地区画整理事業特別会計については、回遊性のある施設がつけられたことにより、中心市街地の活性化に寄与した。後期高齢者医療事業特別会計については、保険料の収納率は98.46%で多くの高齢者から理解が得られていると考える。

よって、認定第1号に賛成する。

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成  
×：議案等に対して反対  
－：除斥  
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	公明党			自由民主の会			日本共産党 塩釜市議団			かいしん		新生クラブ			審議結果							
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	鈴木昭一	高橋卓也	小野絹子	伊勢由典	曾我ミヨ	田中徳寿	志賀勝利	菊地進		志子田吉晃	鎌田礼二	伊藤栄一	佐藤英治			
9月定例会	認定第1号	平成22年度塩電市一般会計及び各特別会計決算の認定について	○	○	／	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	認定		
	認定第2号	平成22年度塩電市立病院事業会計及び塩電市水道事業会計決算の認定について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第54号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第55号	塩電市市税条例等の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第56号	塩電市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第57号	塩電市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第58号	塩電市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第59号	塩電港上屋設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第60号	平成23年度塩電市一般会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第61号	平成23年度塩電市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第62号	平成23年度塩電市下水道事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第63号	平成23年度塩電市公共駐車場事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第64号	平成23年度塩電市漁業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第65号	平成23年度塩電市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第66号	平成23年度塩電市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第67号	平成23年度塩電市水道事業会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第68号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第69号	公の施設の区域外設置に関する協議について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第70号	塩電市土地開発公社の解散について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第71号	監査委員の選任について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第72号	教育委員会の委員の任命について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
議案第73号	公平委員会の委員の選任について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
議案第74号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
議員提出議案第7号	東日本大震災の復旧復興支援に関する意見書	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
議員提出議案第8号	塩電市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
9月臨時会	議案第53号	監査委員の選任について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
会議名	議案番号・件名	公明党			日本共産党塩釜市議団			ニュー市民クラブ			チェンジしおがま		自民クラブ			市民クラブ	チャレンジ	自民市民会	審議結果				
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	曾我ミヨ	中川邦彦	小野絹子	吉川弘	伊勢由典	伊藤栄一	菊地進	阿部かほる	鎌田礼二	木村吉雄	東海林京子	伊藤博章	佐藤貞夫	志賀直哉		香取嗣雄	今野恭一	佐藤英治	鈴木昭一
7月臨時会	議案第50号	東日本大震災による被災者に対する市税の減免に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第51号	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	平成23年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※9月11日に市議会議員の選挙が実施されました。

### 定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は本庁4階の傍聴席へお気軽においでください。なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。詳しくは議会事務局議事調査係までご連絡ください。  
電話 364-11214

### 意見書

今定例会で可決された意見書は次の1件です。  
▼東日本大震災の復旧復興支援に関する意見書

### 人事

今定例会において、次の方々が同意されました。  
○監査委員の選任  
高橋 洋一 氏  
○教育委員会の委員の任命  
太田 忍 氏  
○公平委員会の委員の選任  
佐浦 弘一 氏  
○固定資産評価審査委員会の委員の選任  
丹野 六右衛門 氏  
阿部 勲九郎 氏  
西川 信男 氏

### 市議会会派構成

9月14日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

**公明党（3名）**  
○嶺岸淳一 浅野敏江 小野幸男

**自由民主の会（4名）**  
○香取嗣雄 鈴木昭一 阿部かほる 西村勝男

**日本共産党塩釜市議団（4名）**  
○小野絹子 曾我ミヨ 伊勢由典 高橋卓也

**かいしん（2名）**  
○志賀勝利 田中徳寿

**新生クラブ（5名）**  
○佐藤英治 菊地進 鎌田礼二 志子田吉晃 伊藤栄一

### 編集後記

市議会だより第185号をお届けいたします。今回より委員構成がかわりました。新メンバーは次のとおりです。  
委員長 浅野敏江  
副委員長 伊勢由典  
委員 阿部かほる  
委員 鎌田礼二  
今後市民の皆様と親しまれる「市議会だより」づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。  
議会報編集委員会  
委員長 浅野敏江

9月21日の台風15号により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。市民の皆様が生活安定と一日も早い復旧・復興に向け、市議会も精一杯取り組んでまいります。  
塩電市議会

次回の定例会は  
**12月7日（水）**  
開会予定です